

大林宣彦監督 芦別映画『野のななののか』

6月4日、クランク・イン

大林宣彦監督による芦別市を舞台とした映画『野のななののか』の本格的な撮影が6月4日から始まり、す。ほぼ1か月にわたり、市内各所で撮影が行われます。映画の完成は今年秋の予定で、芦別の美しい自然などがスクリーンに描き出されます。どうぞご期待ください。

1か月にわたり、
新城町や芦別駅周辺
など市内各所で撮影

撮影は、新城町の丘をはじめ、市内の医院、芦別駅とその周辺などのほか、上芦別町の集成材工場跡にセットを組むなどして各所で行われます。

大林宣彦監督をはじめ、カメラマンや音響、美術などのスタッフ約30人が市内に宿泊し、7月10日ごろまで連日撮影が行われる予定です。

映画の内容

芦別で「星降る文化堂」という古道具店を営む、元病院長一家の物語です。

「ななののか」とは、仏教の「四十九日」を意味する言葉。元病院長の男性が92歳で亡くなったのをきっかけに、普段は離れて暮らしている家族が芦別に集まり、我が国や古里、家族の生き方、幸せについて考えます。

男性は太平洋戦争終結直前、樺太でソ連軍(当時)の侵攻を経験し、この経験が彼の生涯に大きく影響しています。この物語は樺太や北海道の敗戦後史へと光を当て、私たち日本人の心に迫り、明日の真実の平和を手繰り寄せる芸術の力を示すに違いありません。

原作は、青森県で劇団「弘前劇場」を主宰する劇作家・長谷川孝治氏の書き下ろしです。
※設定などの詳細は変更の可能性があります

エキストラと製作支援ボランティアを募集中です

芦別映画「野のななののか」製作にあたり、劇中でエキストラとして出演していただける方、また、撮影現場などでスタッフのお手伝いをしていただける方の登録を受け付けています。登録して下さった方には撮影スケジュールに合わせてその都度、撮影日、時間などを製作委員会事務局からお知らせしますので、ご都合のよい日時を選んでお集まりください。

●申し込み・映画に関するお問い合わせ／芦別映画「野のななののか」製作委員会事務局Tel&Fax 0124-23-1001

「映画づくりは、まちづくり」

芦別映画「野のななののか」製作委員会

委員長 宗方 裕之さん

いよいよ芦別映画「野のななののか」のクランクイン。製作委員会委員長の宗方裕之さんに、意気込みなどを語っていただきました。



大林宣彦監督とパートナーでありプロデューサーの大林恭子さんとお話させていただいて、芦別のことやわたしたち市民のことをとてもよく理解してくれているのが分かりました。今の子供たちが大人になり、その子どもたちへも残せる古里映画づくりを全面的にお任せしたいと強く感じました。

映画づくりには、さまざまな難題が付きまといますが、芦別の全市民が一つになるまたとない機会です。芦別映画づくりは「まちづくり」です。映画が完成した後でも、この経験がほかの場面で何らかの役に立つと確信しています。芦別誕生から120年、市制施行60周年の記念すべき年にこのような体験ができるのは何かの縁を感じます。

撮影中はどんな予期せぬ出来事が起こるか分かりませんが、とにかく事故のないよう、ケガのないように、特に市民の皆さんの生活に迷惑がかからないように、心してかからなければなりません。

どうか、市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

芦別120周年・市制施行60周年記念事業

- ◎期日／6月9日（日）
- ◎開場時間／午後1時30分
- ◎開演時間／午後2時30分
- ◎会場／市民会館大ホール

あしべつ寄席

芦別市民限定・入場無料



落語 林家たけ平



紙切り 林家正楽



落語 三遊亭歌奴



太神楽曲芸 鏡味仙三郎社中



落語 林家 正蔵

演 目

一、寄席囃子の実演と解説

お囃子 田中ふゆ社中

- 一、落語 林家 たけ平
- 一、紙切り 林家 正楽
- 一、落語 三遊亭 歌奴
- 一、太神楽曲芸 鏡味仙三郎社中
- 一、落語 林家 正蔵

公演当日の注意

- ①未就学児の入場はご遠慮ください
- ②満席の場合は、ホワイエ(市民会館1階)のモニターでご覧ください
- ③駐車場は市民駐車場、市役所駐車場をご利用ください

●問い合わせ●

まちづくり推進係

プロの技に子どもたちが熱い視線 フリーグプレシーズンマッチ



フットサルのプロリーグ・Fリーグ所属のエスポラーダ北海道対名古屋オーシャンズのプレシーズンマッチが5月12日、市総合体育館で行われました。これは、Fリーグの開幕を前に芦別120周年市制施行60周年記念事業の第1弾として行われたものです。会場には、市内外から大勢のFリー

グファンが集まり、試合開始前から熱気ムンムン。選手入場では、芦別サッカー少年団の子どもたちがエスポラーダ北海道の選手をエスコートするなどして、会場の雰囲気盛り上げました。招待された市内の小学生は、「スピードがあって選手がとても格好良かったです」などと話していました。

好天に恵まれ森森まつりにぎわう 芦小児童による植樹も行われる

5月18日と19日の2日間にわたって、「芦別林産フェスティバル元気森森まつり」が道の駅スタープラザ芦別の特設会場で開催されました。林業のまち・芦別を市内外の人に知ってもらい、木に親しんでもらおうと毎年開催され、今年で10回目。

会場では、丸太切り大会や市内の木工芸作家によるチェーンソーアートなどが行われたほか、芦別子供太鼓、市民吹奏楽団の演奏が披露されるなど、天候にも恵まれ会場は大勢の人たちでにぎわいました。

また5月14日には、芦別小学校6年生73人による記念植樹が旭町の露天掘り

炭鉱跡地で行われ、ヤチダモの苗木200本を植え、森林を育て、守ることの大切さを学びました＝写真＝。

